

マツツマアカシムシ

6～7月にマツ属の枝先が枯れる。内部に赤茶色のイモムシ（幼虫）や蛹がみられる。幼虫は最大長約9mm。体が太く、頭部が茶色で小さい。

海岸防風林のクロマツ幼齢木、庭や街路樹のモンタナマツなどで多発することがある。



1. 幼虫，老齡，体長7mm. 2001/7/14.



2. 被害。データは1に同じ。

美唄市，街路樹のモンタナマツ。

【学名】 *Rhyacionia duplana simulata*

【分類】 チョウ目 (Lepidoptera) , ハマキガ科 (Tortricidae)

【分布】 北海道，本州，四国，九州。

【特徴】

マツのシンクイムシ（幼虫）の区別点

| 種和名 | 最大約 | 特徴 |
|-------------|------|--------------------------------------|
| ツマクロテンヒメハマキ | 12mm | 体はやや太く，黄白色で灰色や赤色味を帯びる。 |
| マツツマアカシムシ | 9mm | 体が太く，頭が小さくみえる。赤茶色。マツ属だけに寄生。 |
| マツアカシムシ | 15mm | 体が太く，頭が小さくみえる。赤茶色。マツ属だけに寄生。道南に分布。 |
| マツトビマダラシムシ | 14mm | 体はやや太く，赤茶色で下側が淡い。 |
| マツズアカシムシ | 12mm | 体はやや太く，淡い黄土色，背中が赤みがる。マツ属だけに寄生。道南に分布。 |
| マツシンマダラメイ | | |

| | | |
|---|------|---------------------|
| ガ | 25mm | 体は細長く，灰色，細い縦縞が多数ある。 |
|---|------|---------------------|

【生態】

クロマツ，アカマツ，モンタナマツの新梢（当年枝）や小さな球果に潜入する。

年1世代。蛹越冬。成虫は4月下旬から5月上旬頃に現れる。卵は主に新芽の根元に産み付けられる。孵化した幼虫は芽鱗の内側に潜り込み新芽を食べる。6月になると伸びてきた若い枝の先端部に潜入する。7月中頃から蛹化が始まる。枝内で樹脂と糸で繭を作り，その中で蛹になる。

| 発育ステージ | ～3月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11～ |
|-----------|-----|-----|------|---|-----|-----|-----|-----|-----|
| 蛹（休眠・越冬） | +++ | +++ | | | ..+ | +++ | +++ | +++ | +++ |
| 成虫・卵 | | ..○ | ○○.. | | | | | | |
| 幼虫（摂食・成長） | | | ..■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ |

【防除】

夏から冬の間枯れた枝先を剪定・除去して内部の幼虫や蛹を駆除する。

【文献】

1984. 鈴木重孝，駒井古実. 北海道における針葉樹を摂食する小蛾類. 北海道林業試験場研究報告，22: 85-129. （形態，生態，被害）

1985. 農林水産省林業試験場北海道支場保護部. 北海道樹木病害虫獣図鑑. 223 pp. 北方林業会，札幌. （生態，被害，カラー写真）.

北海道立林業試験場・緑化樹センター

マツツマアカシムシ himehama/matutuma/
kaisetu.htm

「文章」原秀穂，北海道立林業試験場，2001/8/29-12/12.

1yochu.JPG, 1higai.JPG

「写真1～2」原秀穂，北海道立林業試験場，2001.